



2022 年 5 月 11 日

サステナビリティ方針「未来に向けた5つの重点テーマ」の策定について

株式会社テレビ朝日ホールディングス(本社:東京港区、代表取締役会長・CEO 早河洋、以下「テレビ朝日 HD」)は、サステナビリティを巡る取組みについて基本的な方針を策定し、それに基づく活動を推進するため、本年3月4日付で発表した「サステナビリティ宣言」をもとに当社グループにとっての重点課題(マテリアリティ)を特定し、本日開催された取締役会において「未来に向けた5つの重点テーマ」が承認されましたので、お知らせいたします。

未来に向けた**5**つの重点テーマ

地球の未来への貢献

すべての人が活躍する
未来の創造

テクノロジーで
新しい未来へ

人に優しく
共に生きる

いつまでも信頼される
会社に



地球の未来への貢献

豊かで美しい地球を次世代へ継承していくため、環境問題の解決に取り組みます。また、災害報道を通して、自然災害から身を守る行動をメディアとして社会へ呼びかけていきます。

目標① 個人及び団体が SDGs 達成のアクションを起こすきっかけを提供します。

- ・ コンテンツを通して、環境問題を取り上げていきます。
(SDGs キャンペーン「未来をここからプロジェクト×SDGs」、レギュラー番組「しあわせのたね。」、気候変動特番、日々の報道情報番組では、環境問題をはじめ SDGs 達成に向けた様々な活動を取り上げていきます。)
- ・ スポーツイベント等で環境に配慮した施策を実施します。

目標② 災害の脅威を伝え、災害時には地域活動に貢献します。

- ・ 災害情報のアーカイブ化を続け、次世代に情報を引き継いでいきます。
(東日本大震災の被災地定点記録「REC from 311」、災害日めくりカレンダー「まいにち防災」)
- ・ 災害時に保有施設を地域拠点とします。

目標③ 資源の有効活用および地球環境に優しい生活スタイルを提案します。

- ・ 番組の美術廃材をアップサイクルし、イベント事業で利用します。

目標④ 環境負荷を低減します。

- ・ 本社スタジオ設備の消費電力を 2020 年比で 50%削減するとともに、グリーン電力の導入などにより 2030 年までに本社の再生可能エネルギー比率 100%達成します。
- ・ 有明南地区の土地開発において環境保全の施策を実施します。

すべての人が活躍する未来の創造

コンテンツを通して、子供からシニア層まであらゆる世代の人々に“学びの場”を提供していきます。その先にある“人々が活躍できる社会”の実現に貢献します。

目標① 未来を担う若者を応援する仕組みをつくり、全ての人が活躍できる社会の創造に貢献します。

- ・ プロジェクト兼コミュニティ「FUTURE TALENT PORT」により、UNDER30 世代のイノベーターが情報発信できる機会を創出します。
- ・ テック企業と連携し、これまでにない新しいオンライン教育事業にチャレンジしていきます。

目標② いつでも、どこでも、どこへでも“学びの場”を提供します。

- ・「出前授業」「テレ朝出前講座」のデジタル化を推進します。
- ・「オンライン館内見学」「オンラインテレビ塾」などテレビ局ならではの多種多様な“学びの場”を創出します。

テクノロジーで新しい未来へ

テクノロジーの進化により、人々の生活が急速かつ大きく変化するなか、最先端の技術を伝えていくとともに、日々の活動にも取り込みます。

目標① 人々の暮らし、働き方、ビジネスの新たな選択肢を提供するテクノロジーおよびクリエイターを恒常的に見出していきます。

- ・番組を通して若きクリエイターを紹介します。
（「発進！ミライクリエイター」のレギュラー放送およびスペシャル番組）
- ・報道情報番組で時代の最先端を走る“人”や“テクノロジー”を特集していきます。

目標② AI・VR・メタバースなどの新技術を使ったコンテンツを創造します。

- ・メタバースを使ったイベントの開催や AI×CG キャラクターの活用などコンテンツ制作に新しいテクノロジーを取り入れていきます。
- ・VR やメタバースなどの手段を使って、他社との共創活動を行うことによって新しい映像表現に挑戦し続けます。

目標③ 業務の効率化および働き方の多様化を図るため、DX を活用します。

- ・RPA・文字起こし・チャットボットなどの AI 技術を活用し、定型業務の自動化を促進します。
- ・社内各所に適したデバイスやアプリケーションを導入することにより、社員が主体的・創造的に働くことのできる環境を整備します。

人に優しく共に生きる

互いの個性や価値観を尊重し、すべての人が暮らしやすい社会を目指します。また、従業員のさまざまなライフステージに応じた支援を実施していきます。

目標① 「多様性」を取り入れたコンテンツの制作および発信を続けていきます。

- ・ジェンダーバランス、マイノリティへの配慮など、ダイバーシティの視点で番組を考査します。
- ・パラスポーツを積極的に取り上げ、またインクルーシブ大会を支援します。

目標② 社員の業務充実度80%以上を維持します。 ※年度末、自社調べ

- ・ ワークライフバランスを推進するため、社員の健康増進と各ライフステージにおけるライフイベントをサポートします。
- ・ 同性パートナーへ配偶者に準じた対応、ジョブリターン制度の拡充、AI 婚活支援サービスの導入などを実施します。

【これまでの取り組み① 社員が働きやすい労働環境の構築】

- ◇ 社員の健康増進・ライフイベントを支援する仕組みを積極的に導入しております。「健康支援」においては、最大 3 年半の傷病休職、休暇取得奨励策の推進、法定以上の健康診断などの制度を整備しております。また、各ライフステージにおいては、「出産育児」では不妊治療休職や復職支援制度を設けており、男性に対しても妻出産時における休暇等の育児制度を導入しております。「介護」においては最長1年の介護休職、「シニア」においては 65 歳までの定年再雇用制度を実施済みです。

【これまでの取り組み② テレビ朝日福祉文化事業団】

- ◇ 1977 年、民間放送局初の社会福祉法人として「テレビ朝日福祉文化事業団」を設立しました。テレビ局の特性を生かしながら、児童、母子、障がい者、高齢者など幅広い対象者への福祉活動に取り組んでいます。

【これまでの取り組み③ テレビ朝日ドラえもん募金】

- ◇ 自然災害の被災者や福祉活動への援助等を目的とし、1999 年より「テレビ朝日ドラえもん募金」を実施しています。テレビ朝日での各番組をはじめとする呼びかけを通じてお寄せいただいた募金の全額を被災地へ寄付しております。

いつまでも信頼される会社

放送局・報道機関として公共的使命を全うするため、ガバナンスを強化し、コンプライアンスを徹底します。情報提供の充実に努め、経営の透明性を高めるとともに、社会のルールや様々な要請に適う体制を常に構築していきます。

目標① ガバナンスを強化します。

- ・ 持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指し、ステークホルダーのニーズに適うコーポレート・ガバナンスの充実に継続的に取り組みます。

目標② コンプライアンスを徹底します。

- ・ コンプライアンス推進体制を強化するとともに、役職員のコンプライアンス意識の浸透及び向上を図ります。
- ・ 内部監査、経費の適正使用調査など、定期的にモニタリングを実施します。

目標③ 情報セキュリティ体制を強化します。

- ・ 個人情報の保護を徹底するため、データガバナンス体制を強化します。
- ・ テレビ朝日全社員のデータリテラシーを向上させます。
- ・ 重要インフラとしての放送の継続を確実にするため、高度なセキュリティ対策を講じていきます。

目標④ 下請法を遵守し、取引先企業との適正な関係を構築します。

- ・ 制作部門を対象とした勉強会を通して、従業員への教育を徹底します。
- ・ 制作会社との取引について社内調査を適時実施します。

以上

【株式会社テレビ朝日ホールディングス】

代表取締役会長・CEO 早河 洋

所在地：東京都港区六本木6-9-1

■ 本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社テレビ朝日ホールディングス

SDGs 推進室 事務局

電話：03-6406-1115(代表)